

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2016.11.1)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.94

★新会派「いのちが大事」結成！

11月1日、野村羊子は、嶋崎英治議員、伊沢けい子議員とともに、新たに三鷹市議会会派「いのちが大事」を結成しました。



三鷹市議会「いのちが大事」申し合せ事項

- 1 命が大切にされる市政を目指す。
- 2 議会改革を進め、議会基本条例の制定を目指す。
- 3 議案については、意見の一致をみるよう十分に協議を行ない、最終的な判断は個人の責任において行う。



野村羊子は、2007年5月の初当選後、嶋崎英治、半田伸明、浦野英樹議員ら4人で、議会改革をめざし会派「にじ色のつばさ」を結成。浦野議員の離脱後は3人で活動を継続。しかし、2015年10月、半田議員が離脱し、「交渉会派」の資格を失いました。「議案提案時の質疑」を実現させるなどの議会



改革の努力を重ねてきましたが、議会活動上の制約は予想以上に大きいものでした。

そのため「にじ色のつばさ」を解散し、思いも新たに3人で会派「いのちが大事」を結成することにしました。今後は、さらなる議会改革をめざして、議会活動に臨んでいきます。

☆会派って何？

議会内で同じ政策や理念を持つ議員で結成する団体。三鷹市議会では、3人以上を「交渉会派」としています。市政への方向性が同じであれば違う政党でもいっしょに会派を結成したり、同じ政党でも別の会派をつくる場合もあります。三鷹市議会では、**交渉会派**は「自由民主クラブ」(11人)、「公明党」(4人)、「民進党」(4人)、「日本共産党」(4人)、その他の**諸派**は「にじ色のつばさ」(2人)、「無所属」(1人)、「やさしい市政へ」(1人)、「日本維新の会」(1人)でした。

ません。予算・決算の「代表質疑」は交渉会派のみ。「市政に関する一般質問」の質問時間についても、交渉会派には30分の会派割当がありますが、諸派は1人10分間のみです。また、三鷹市議会では、代表者会議の傍聴・オブザーバー参加を認めていないため、会議の結果は事務局職員から伝えられるだけです。



このように交渉会派ではない議員の議会活動・発言・影響は、相当制限されているのが現状です。

☆交渉会派って何をするの？

議会は会派を中心に運営されています。**代表者会議**や**議会運営委員会**は、交渉会派の代表のみで構成。委員会や審議会等の委員を決めるのは代表者会議ですから、希望する委員会に入りたいという交渉にすら参加できません。嶋崎議員は社会福祉協議会評議員を断りなく外されました。現在、**議会改革**は議会改革検討委員会ではなく、代表者会議で内容を詰めているため、この議論にも参加でき



☆政務活動費はどうなっているの？

三鷹市議会は、1人当り月2万7千円(年間32万4千円)を会派に交付。支出できる経費内容は要領で定め、飲食費は認めていません。実績報告書、領収書等をHPで公開しています。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No94
 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
 Tel&Fax:0422-72-2425
 E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
 Url: http://www.nomura-yoko.net
 Twitter: @hitujinomura



◆2017 Winter Issyo-Tour ◆

☆ もうすぐ6年 “福島は今”と向き合う ☆

～ 飯館、相馬、双葉、そしていわきをめぐる～

2011年の東日本大震災、東京電力福島第1原発事故から6年が経とうとしています。子どもたちの甲状腺ガンが増え、山間のダム底に大量の放射性物質が沈殿し、道ばたのフレコンバックはさらに高く積まれていく。福島第一原発の事故処理は遅々として進まないのに、福島県と国は帰還政策を加速。次々と避難指示を解除し、2017年3月には避難者の住宅支援を断ち切る。人々の暮らしは、どうなっているのか。

そんな“福島は今”と向き合い、命とは、暮らしとは、を見つめてみませんか。どなたでも参加できます。みなさまのお申し込みをお待ちしています。



<見学スポット その1> 飯館村

「までの村」として独自の村づくりを重ねてきたところに降った放射能。谷間に沿って吹き上げた風と雪。遅れた情報と避難指示。幾重もの困難の中で、村と命を守ろうと奮闘してきた長谷川健一さん(原発被害糾弾 飯館村民救済申立団 団長)のご案内を予定しています。

<見学スポット その2> 南相馬市

原発から20km圏内の南相馬市小高地区。特定避難勧奨地点が、空間線量年間20ミリシーベルトを下回ったことを理由に解除。事故直後から地元の放射線量を測る活動されてきた小澤洋一さん(南相馬・20ミリ撤回訴訟原告団事務局長)のご案内予定です。

<見学スポット その3> 双葉郡

原発の立地する双葉郡。主に帰還政策が進む富岡町(富岡駅・夜ノ森)、楢葉町(Jピレッジ)、広野町(天神山公園)等を回ります。広野町出身のいわき市議、佐藤和良さんのご案内を予定しています。

<見学スポット その4>

いわき放射能市民測定室 **たらちね**

2011年10月に市民が立ち上げた放射能測定室。食品・土壌等の放射線量測定、ホールボディカウンター、甲状腺検査、ベータ線測定ラボなど機能を強化し、検診センターも併設準備中。子どもたちの未来を守るために活動する現場に伺う予定です。



* 予定は予告なく変更する場合があります。ご了承ください

【日程】

2017年1月21日(土)～22日(日) 1泊2日

集合時間・場所 07:45 / 三鷹産業プラザ前

帰着予定時間 18:00 ☆往復の移動は貸切マイクロバスです

宿泊場所 ホテルパームスプリング 〒972-8625 福島県いわき市常磐白鳥町壱丁田18番地

TEL: 0246-43-3011 (代表)

費用 ¥28,000 <予定: 交通費、宿泊費(1泊2食)、講師謝礼等含む>

※集合時に集金。金額の明細は参加者に通知します

◆ ツアー参加の皆さんには「旅のしおり」を配布◆

オプションツアー検討中
スパリゾートハワイアンズ ショー見学
(21日夜)

定員 20名

お問い合わせは 野村羊子といっしょにつくる三鷹の会(いっしょの会)までお気軽に!

issyonokai@nomura-yoko.net FAX 0422-72-2425

大切なお願い: ツアーの参加申し込みは12月20日(火)までにお願ひします